



## Focus on !! タイ・キングモンクット工科大学から 26 名来学

研究高度化・グローバル化特別対策室（通称：研グロ）では、教職員及び学生のグローバル化を推進するため、海外大学との学術・学生間交流を積極的にサポートしております。平成 29 年 6 月 15 日～6 月 17 日の 3 日間の日程で、タイ国キングモンクット工科大学 ラカバン校（KMITL）から、教員、技術職員、学生の総勢 26 名が来学し、第 1 回合同国際シンポジウムが開催されましたので紹介します。このシンポジウムは、一昨年に本理工学部から同校へ訪問したおりにその開催が提案されていたものです。今回、理工学部システム創成工学科の吉森久准教授及び大坊真洋准教授の尽力と各コース、研グロ室員、技術部の多大な協力の下に実現しました。

### ★ 合同シンポジウム開催

開会式では、今回のシンポジウムの仕掛け人である吉森准教授による開会宣言、船崎理工学部長と KMITL・Dusanee 理学部長による挨拶、吉澤研グロ室長による本学紹介の後、KMITL・Ruttanapun 助教による「タイ国における熱電変換技術の応用の最新研究」、本学理工学部・成田教授による「国際リニアコライダー計画」についての基調講演が行われました。その後、物理・数学分野、化学・生物化学分野の 2 つのセッションに分かれ、KMITL 16 名、理工学部 23 名の総勢 39 名の教員による研究紹介が 2 日間にわたって実施されました。また、ポスターセッション等を通して、学生や技術職員同士の交流も活発に行われました。

### ★ 理工学系技術部の匠の技を体感 !!

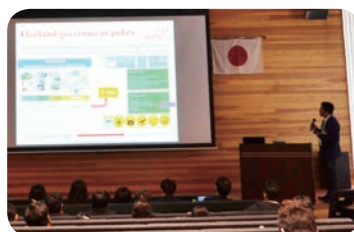
期間中、研究施設見学を通して、両大学の技術系職員間の交流も行われました。本学技術職員の案内の下、応用化学・生命工学科学生実験、高度試作加工センター、平泉文化研究センター、電子顕微鏡室、研究推進機構、マテリアル解析室を見学しました。また、タイからの参加者全員には、高度試作加工センター内のマシニングセンタと呼ばれる複合加工工作機械で作成されたネームプレート（写真右、机上の銅製のもの）がプレゼントされました。



開会式において、吉森准教授から、Dusanee 理学部長へ花束と漆器が贈呈されました（写真右）。



KMITL の Ruttanapun 氏による基調講演の様子（写真左）。



2 日目午後に行われた、技術職員及び学生によるポスターセッションの様子（写真右）。タイ側から 6 件、岩手大学側から 18 件、計 24 件の発表がありました。



### ★ 一関&平泉で岩手を体感

6 月 17 日にはエクスカーショが行われ、一関の狛鼻溪、平泉の中尊寺と毛越寺を訪問しました。日本三大渓谷と日本百景に認定されている狛鼻溪では、船下りを体験しました。船頭さんが唄う追分や、タイ語の歌で大いに盛り上がり、参加者一同、素晴らしい一時を過ごすことができました（写真右）。



### ★ 今回の交流を通して

シンポジウムでは基調講演 2、口頭講演 39、ポスターセッション 24、技術職員のプログラム等が企画され、活発な質疑応答と技術交流が行われました。初日の夜のマリオス・スカイメトロでの懇親会では、本学技術職員によるタイ語のメニューも用意され、KMITL の方々が本学職員と一緒に記念写真を撮る姿も見られました。初対面とは思えないくらい打ち解けて和やかな雰囲気での懇親会でした。エクスカーションでは、岩手と日本の文化を味わい、理解を深めていただけたと思います。今回の交流を通して多数の新しい人的交流が生まれました。次回の合同シンポジウムは 2 年後にタイ国 KMITL で行われる予定です。（システム創成工学科 吉森久 准教授）



Joint International Symposium on Science and Technology  
Organized by Iwate University, Japan, and King Mongkut's Institute of Technology Ladkrabang, Thailand  
2017.6.15(thur) @Iwate University (Ginga hall)

シンポジウム開会式において、参加者全員で（写真上）。

# ★ とびたて理工学部生 !! 海外留学体験記特集 (第1弾)

研グロは、韓国・ハンバット大学校との学生間交流、カナダ・サスカチュワン大学への短期研究インターンシップなどを通して、学部生や大学院生の積極的な海外派遣を推進しています。これらのプログラムとは別に、国際課が支援する留学プログラムに自身で応募し、海外へ飛び立って行く学生もいます。本報では、平成26年度からスタートした海外留学支援制度「トビタテ! 留学 JAPAN 日本代表プログラム」<sup>※1</sup>により海外に留学した本理工系学生2名の体験記を紹介します。

## 櫻井健人さん 機械システム工学専攻 M2

留学期間：平成27年3月～平成28年3月

留学先：イギリス、ドイツ・重イオン研究所

私は「トビタテ! 留学 JAPAN」を利用し、イギリスでの3か月間の語学留学、ドイツの重イオン研究所(GSI)で9か月間のインターンシップに取り組みました。海外で長期的に勉強できるチャンスは今しかないと思い、学部を卒業したタイミングで海外へとびたつことを決意しました。

「トビタテ! 留学 JAPAN」は海外にとびたつ前に事前研修、事後研修があり、留学経験の最大化が図れます。イギリスでの語学研修、ドイツでの研究活動ともに初めてのことばかりで苦難の連続でした。しかし、そういった経験や「トビタテ! 留学 JAPAN」の研修を通して大きく成長したことを実感しております。

重イオン研究所内でのオクトーバーフェストでの一枚(写真右)。右端が櫻井さん。



ドイツ滞在時にドイツ人とカードゲームをして交流を深めている様子(写真左)。



※1 トビタテ! 留学 JAPAN 日本代表プログラム：平成26年からスタートした官民協働で取り組む海外留学支援制度で、平成32年までに、約1万人の高校生、大学生を派遣学生として海外に送り出す計画となっています。

※2 サイエンスアウトリーチ活動：出前講義やサイエンスカフェなどの活動を通して、一般市民にも科学への興味と理解を深めてもらうことで、科学技術と社会の関係改善を図ることを大きな目的としています。

## 松本智紘さん 応用化学・生命工学科 B4

留学期間：平成27年9月～平成28年9月

留学先：カナダ・サスカチュワン大学

「トビタテ! 留学 JAPAN」で約一年間カナダに留学してきました。テーマは、「科学の楽しさや必要性を世に広める」サイエンスアウトリーチ活動<sup>※2</sup>です。現地のイベントの一つであるサイエンスカフェでは、大学教授と一般市民がビール片手に楽しそうに議論している光景が見られたこともあり、この活動を日本でもっと広めていきたいと強く感じました。また留学を通し、それまで考えたこともなかった海外大学院への進学も考えるようになりました。

私にとって留学は、楽しく英語が身についただけでなく、視野を大きく広げ、人生を変えてしまうような経験でした。迷っている方も諦めている方も、とりあえずトビタテに応募書類を出してみれば人生が変わるかもしれませんのでお勧めです。

サイエンスカフェでの一枚(写真右)。ビール脇の資料と紐は、DNAについてお話をされていた大学教授の方が用意して下さいたものです。



友達等と一緒にキャンプに行ったときの写真(写真左、前から2列目、右から3番目の方が松本さん)。カナダでポピュラーなカヌー遊びをしました。

## 掲示板

### ★ 研グロホームページが遂に開設されました !!

この度、研グロのWebサイトが立ち上がりました。6月上旬より公開しております。海外大学との連携事業や本学での研究セミナー・国際シンポジウムの開催など、多方面に展開している研グロの活動を是非多くの皆様にご覧いただければ嬉しく存じます。また、タイトル部の背景は全て本学内の景色です。豊かで美しいキャンパスや学生生活の様子等、今後も適宜更新致しますので、併せてお楽しみいただければ幸いです。(理工学系技術部：村上・藤崎)

#### 【研グロHP URL】

<http://www.kenguro.iwate-u.ac.jp/>



HP画面の一部。季刊報の紹介ページでは、過去の記事が講読できます



HP作成で多大なご協力を頂きました技術職員藤崎さん(左)と村上さん(右)

## 編集後記

表記事のキングモック工科大とのシンポジウムは、本当に大イベントで、準備や手配に多くの時間と人力が費やされました。そんな中、お越しいただいたタイの皆さんのフレンドリーな笑顔ややさしさに触れ、努力が報われた思いで一杯になりました。また、裏面の留学体験記からは、異文化間の交流により、常に新しい発見ができる事がわかります。研グロ対策室は、より多くの学生さんにも海外体験してもらい、国際的な視野を広げてもらうべく、今後もサポートを続けていきたいと思っております。

#### 編集局：

理工学部研究高度化・グローバル化特別対策室  
Email: [kenguro@iwate-u.ac.jp](mailto:kenguro@iwate-u.ac.jp)  
TEL: 019-621-6405